

シップ・オブ・ザ・イヤー 2017 20,000TEU 型コンテナ船「MOL TRUTH」に決定

部門賞は 「あざれあ」(大型客船部門)
「鷹巢」(小型客船部門)
「TRANS HARMONY 1」(大型貨物船部門)
「はいばーえこ」(小型貨物船部門)
「天鷹丸」(漁船・作業船部門)
「かいりゅう」(海洋構造物・機器部門) に授与

公益社団法人 日本船舶海洋工学会が授賞するシップ・オブ・ザ・イヤーは、毎年日本で建造された話題の船舶の中から、技術的・芸術的・社会的に優れた船を選考して与えられるもので、28 回目となる今年は合計 10 隻が選考の対象となりました。

シップ・オブ・ザ・イヤー2017 の応募作品発表会と選考委員会は、去る 5 月 14 日東京都港区の明治記念館で開催され、「シップ・オブ・ザ・イヤー2017」には、国内最大となる 20,000TEU 型コンテナ船「MOL TRUTH」が選ばれました。

各部門賞には、「あざれあ」(大型客船部門)、「鷹巢」(小型客船部門)、「TRANS HARMONY 1」(大型貨物船部門)、「はいばーえこ」(小型貨物船部門)、「天鷹丸」(漁船・作業船部門)「かいりゅう」(海洋構造物・機器部門) がそれぞれ選ばれました。

授賞式は、日本マリンエンジニアリング学会および日本航海学会の表彰と共に、海事三学会合同表彰式として 7 月 13 日に海運クラブにおいて執り行われます。

シップ・オブ・ザ・イヤー選考委員は下記のとおりです。

選考委員会委員 (順不同)

森本 靖之 氏	(委員長) 日本船長協会 元会長
平野 拓夫 氏	インダストリアルデザイナー
川崎 和男 氏	大阪大学名誉教授 名古屋市立大学名誉教授
植村 史久 氏	海事プレス社 代表取締役社長
藤本 逸朗 氏	日本海事新聞社 取締役
池田 良穂 氏	大阪府立大学 名誉教授
種村 国夫 氏	イラストレーター
智片 通博 氏	元 NHK エグゼクティブ プロデューサー
三栖 邦博 氏	建築家 元日建設計会長
鈴木 志津子氏	フリージャーナリスト
山田 廸生 氏	日本海事史学会 副会長
米家 卓也 氏	日本海事協会 顧問
宇都 正太郎氏	日本船舶海洋工学会 理事(広報担当)

シップ・オブ・ザ・イヤー2017 選考経緯

「シップ・オブ・ザ・イヤー2017」には、大型客船部門 1 隻、小型客船部門 2 隻、大型貨物船部門 3 隻、小型貨物船部門 2 隻、漁船・作業船部門 1 隻、海洋構造物・機器部門 1 隻の、計 10 隻の応募があった。これを受けて 3 月 28 日に学会所属の技術専門家からなる予備審査委員会が開かれ、10 隻すべてが本選考委員会に推薦された。

候補船の発表会・選考会は、5 月 14 日に明治記念館（東京都港区）で開催され、一般参加者も多数聴講する中、各応募船をアピールする熱心なプレゼンテーションが行われ、その後別室にて選考委員会が開催された。全 13 名の選考委員のうち 12 名が出席、会場に参加した一般会員による投票の最多得票船を 1 票として加算し、満票で 13 票ということで選考を開始した。

事前の予備審査委員会での審査結果（技術の独創性・革新性、技術・作品の完成度、社会への波及効果、話題性・アピール度）やコメントを参考とし、発表会でのプレゼン内容や質疑をもとに選考が進められ、その後投票に進んだ。まず全候補作品から最優秀作品一点をシップ・オブ・ザ・イヤーとして選定し、その後、優秀な作品に対してシップ・オブ・ザ・イヤー部門賞等を授与する選考方法とした。

投票の結果、全長 400m、2 万個積みと世界最大級となるスケールメリットのほか、様々な省エネ技術を採用し輸送効率の向上を図った 20,000TEU 型コンテナ運搬船「MOL TRUTH」が 1 回目の投票で過半数の 9 票を獲得し、見事シップ・オブ・ザ・イヤー2017 の栄冠を手にした。

続いて、各部門賞の選考を実施し、大型客船部門賞に「あざれあ」、小型客船部門賞に「鷹巣」、大型貨物船部門賞に「TRANS HARMONY 1」、小型貨物船部門賞に「はいばーえこ」、漁船・作業船部門賞に「天鷹丸」、海洋構造物・機器部門賞に「かいりゅう」が、それぞれ審査委員の過半数の票を得て選考された。

選考委員長 森本 靖之

受賞船紹介

シップ・オブ・ザ・イヤー 2017 「MOL TRUTH」

全長 400m、世界最大級の 20,000TEU 型コンテナ運搬船。スケールメリットの他、様々な省エネ技術の採用で輸送効率の向上を図った。構造強度安全性確保にも注力し、海上技術安全研究所や複数船級協会と連携した解析を実施した。環境負荷低減のため将来 LNG 燃料船へ改造するための準備として、主機関構造を一部変更している。



船名	MOL TRUTH
船種	20,000TEU 型コンテナ船
船主	CYPRESS MARITIME, S.A.
建造会社	今治造船株式会社
竣工年月日	2017 年 10 月 31 日
Lpp x B x D · d	383.4m×58.5m×32.9m· 16.0m
総トン数	210,691 トン
速力	23.0 ノット
主機	MAN B&W 11G95ME-C9.5 56,380kW
積載貨物	20FT コンテナ換算で 20,182 個
特徴的な構造・艙装品	4 段ラッシングブリッジ、発電機用排ガス熱回収装置

大型客船部門賞 「あざれあ」

2017年6月に小樽～新潟航路に就航した代替新造フェリー。従来船に比べて航海速力のアップと燃料消費量の削減を達成するため、最新省エネ船型や近接2軸推進システムに加え、三菱空気潤滑システム(MALS)等の高効率推進システムを採用して、船体抵抗の低減と推進効率向上を達成している。



船名	あざれあ
船種	カーフェリー
船主	新日本海フェリー株式会社
建造会社	三菱重工業株式会社
竣工年月日	2017年6月26日
Lpp x B x D・d	188.0m×26.6m×20.3m - 7.2m
総トン数	14,125 トン
速力	25.0 ノット
主機	Wärtsilä 16V38C 11,000kW×2
積載貨物、旅客数	12mトラック 150 台、乗用車 22 台、旅客 600 名
特徴的な艤装品	三菱空気潤滑システム(MALS)、 フィンスタビライザー

小型客船部門賞 「鷹巢」

離島航路の水中翼付高速双胴船である。船体は細長く、船首ステムを立ち上げて水線長を長くし、双胴間に配置した水中翼で船体を浮上させることにより造波抵抗を抑えている。水中翼に設けた可動翼をコンピューター制御することによりローリング、ピッチングを減らし乗り心地を向上させている。曳き波も低減され、他船や港湾施設に迷惑をかけることなく運航可能である。



船名	鷹巢
船種	双胴旅客船
船主	長崎汽船株式会社ほか
建造会社	瀬戸内クラフト株式会社
竣工年月日	2017年5月30日
Lpp x B x D · d	30.1m×7.0m×2.6m - 1.1m
総トン数	124 トン
速力	30.0 ノット
主機	MTU 16V2000M70 1,050kW×2
旅客数	旅客 150 名、船員 3 名
特徴的な艤装品	水中翼自動制御装置、船内 WiFi